

野焼き・輪地切り支援ボランティア受け入れに関する牧野組合の意向 - 5年間の意識変化 -

野焼き・輪地切り支援ボランティア受け入れに関して、牧野組合を対象に、平成 10 年と平成 15 年に行ったアンケート調査の結果を示したものである。

設問と回答数には違いがあることに留意が必要であるが、この結果を比較すると、ボランティアの受け入れについては、平成 10 年 12 月では受け入れを希望する組合が 19.4% であったのに対し、平成 15 年 12 月の調査では、既に受け入れている組合が約 1 割、受け入れを検討したいまで含めると約半数にのぼることが明らかとなった。

平成 10 年からの 5 年間で、野焼き・輪地切り支援ボランティア受け入れに対する牧野組合の意識が確実に変化してきたといえる。

<平成 10 年度>

質問：「野焼きの維持（再開）にどのような支援策があるとよいと思われますか」との設問からボランティア派遣に関する回答に着目して回答パターンを集計したもの

	回答数	回答割合	
1. 野焼き輪地切りへのボランティア派遣を希望	4	6.5%	} 19.4%
2. 輪地切りへのボランティア派遣を希望	5	8.1%	
3. 野焼きへのボランティア派遣を希望	3	4.8%	
4. ボランティア派遣は希望しない	41	66.1%	
不明	9	14.5%	
	62	100.0%	

平成 10 年度環境庁「参加型国立公園環境保全活動推進事業」報告書より

<平成 15 年度>

質問：野焼き・輪地切り支援ボランティアを受け入れたいですか

	回答数	回答割合	
1. 既に受け入れている	13	9.8%	} 47.0%
2. 今後是非とも受け入れたい	8	6.1%	
3. 受け入れを検討したい	41	31.1%	
4. 受け入れたいとは思わない	55	41.7%	
不明	15	11.4%	
計	132	100.0%	

平成 15 年度「阿蘇地域自然再生推進計画調査」の一環で実施した「牧野組合調査」結果中間報告より